

海外生活 エッセー

シドニー事務所

サーバーがダウンし混乱！ 豪州国勢調査

(一財)自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 岡元 里奈 (京都府井手町派遣)

2016年8月9日、オーストラリアで5年に1度の国勢調査が実施されました。1911年から豪州統計局 (Australian Bureau of Statistics) が行っている本調査では、今回から全世帯を対象としたオンライン調査を初めて導入しました。インターネットによる回答数は1,600万人を超え、豪州史上最大のオンラインイベントになると予想されましたが、調査当日、サーバーがダウン、サイトの不具合が生じ一時混乱状態に陥りました。

外国人観光客も調査対象、罰金制度

国勢調査当日の9日夜時点で、豪州に滞在する全ての人に対して回答する義務が課されています。例えば、滞在中の外国人観光客はそのホテルで回答、友人宅に泊まった場合は、その友人宅の世帯員として回答、逆にその時点で国外にいるオーストラリア国民は回答が不要とされています。また、豪州では選挙において投票しない場合には罰金を科せられる義務投票制を導入しているのと同様、国勢調査も回答・提出することが義務とされており、1日の遅延につき180豪ドル (約1.5万円) の罰金が科されることが強調されました。

調査当日の夜

調査日の夜は、「Census Night」と銘打ち、あらゆる媒体でカウントダウン広告を打つなど周知が徹底されました。しかし、当日の午後7時半頃からサーバーがダウンし、豪州統計局のサイトへのアクセスが不能となりました。次第に各ニュースサイトで不具合の記事が掲載され始め、豪州統計局の公式ツイッターでは、午後8時頃、「現在つながりにくくなっているので、少々お待ちを」との記事が投稿され、午後11時になり、「本日の復旧はできません。明日午前に接続してください」、

また「本日中に記入を終えなくても罰金は科されません。まだ時間はあります」と表示されました。

当日夜から翌朝にかけての政府の対応は、サイ

バー攻撃説、想定以上のアクセス説など、説明が二転三転し、いろいろな憶測が流れましたが、原因の確定はなされず、ウェブ上で複数の原因を併記したままでした。「Census Night」と強調していたものの、その2日後の8月11日まで復旧に手間取り、結局、9月23日までオンラインで回答できるようになりました。



調査当日夜の豪州統計局公式ツイッター

その後の状況、集計結果

当初、豪州統計局は、国民の3分の2以上がオンラインで回答すると見込んでいましたが、実際は6割程度にとどまりました。用紙での回答を含め全世帯の95%近くが回答したとされています。収集された情報は、名前・住所とそのほかの情報が切り離され、4年間保存された後、名前・住所は破棄処理されます。

豪州社会の実態が言語や宗教の面から浮かび上がるこの国勢調査の結果は、住民登録制度のないこの国では、全国のコミュニティへの様々なサービスの提供、政府機関の予算配分の決定など、公共、民間部門において幅広く利用され、政策に反映されています。第1段の集計結果は、従来に比べ2か月早く、2017年4月11日に発表される予定となっています。